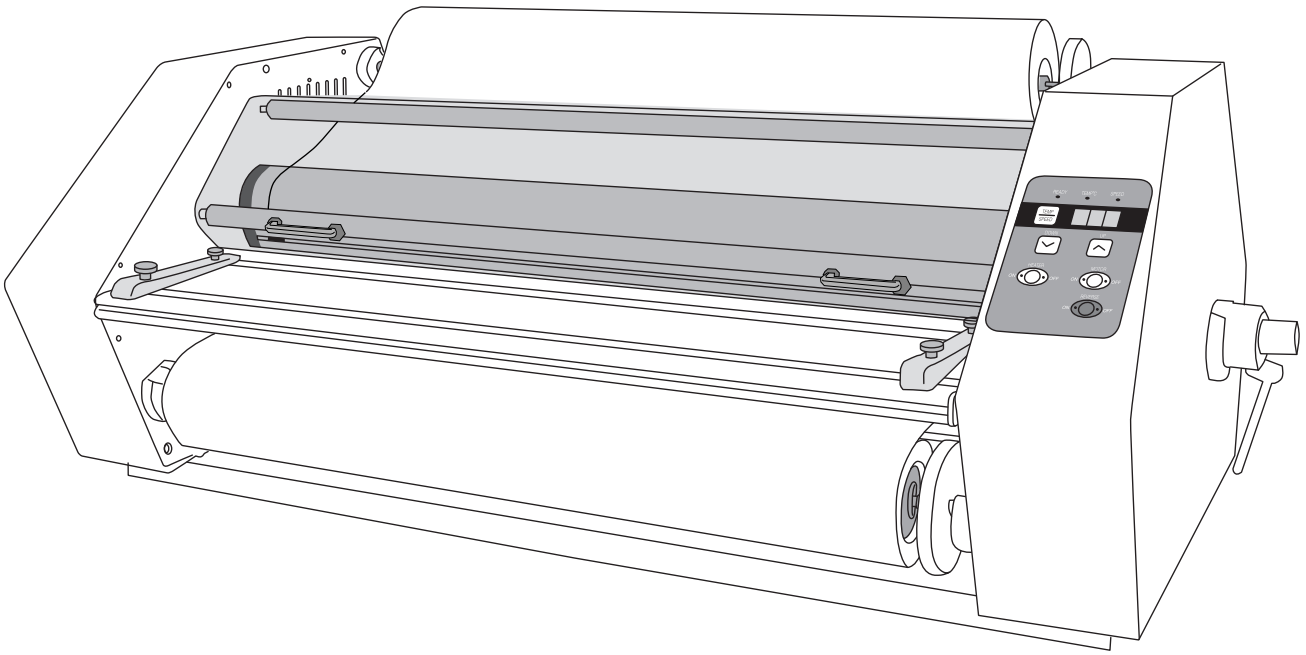
Lamipacker®

FUJIPLA

LPP6512/1112

取扱説明書（保証書）

この度は当社製品をお買上げいただきありがとうございました。
ご使用になる前に説明書をお読みいただき、
正しく安全にご使用ください。
また、この取扱説明書（保証書）は大切に保管してください。



フジプラ株式会社
ホームページ　http://www.fujipla.co.jp/
ヘルプデスク
お問い合わせ　0120-227-846

FUJIPLA Inc.
TOKYO, JAPAN

この度は、ラミパッカーをお買い上げいただきありがとうございます。
本機はラミネート用ロールフィルム(当社商品「CPロール」)を使い用紙などの表面に、透明なプラスチックフィルムをラミネート(積層)する機械です。ラミネートされた用紙などは、表面に光沢が出て美しくなり、耐久性、耐摩耗性に優れたものとなります。
本取扱説明書をよくお読みになり危険や失敗がないよう末永くご愛用ください。

警　　告

分解禁止

巻込注意

感電注意

高温注意

⚠ ご自分では分解・改造・修理などをしないこと。万一、巻込み等のトラブルが発生した場合は直ちに電源スイッチをOFFにして電源コードを外して販売店または当社に連絡していただき、その指示に従ってください。
⚠ ネクタイ・ネックレス等、巻込みやすい服装は避けること。髪が引き込まれないように注意すること。
⚠ 万一、巻込んだ場合には直ちに電源をOFFにすること。
⚠ 機械に水をかけないこと。ぬれた手で操作しないこと。
⚠ 電源コードを機械の下にはさまないこと。
⚠ 移動する時は、必ず電源コードを抜くこと。
⚠ 機械の上部面およびラミネート仕上り品は熱くなっております。
⚠ ラミネート禁止物(次項の「対象物」を参照してください)はラミネートしないこと。
⚠ 危険物のラミネートまたは誤った操作で発煙することがあります。
⚠ 安全カバーおよび前案内板は常時装着の上、使用すること。
⚠ 締め切った室内では、こまめに換気を行うこと。

安全取扱説明

安全にご使用いただくために､次の注意事項を必ずお守りください。

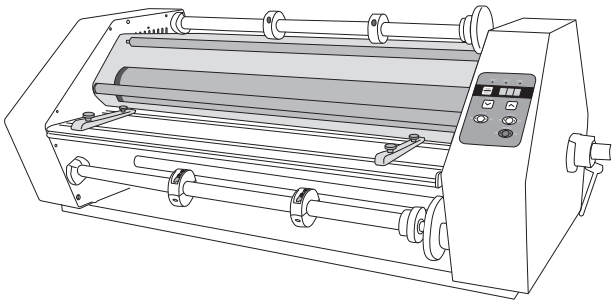
設置場所	1)湿気の多い場所、クーラーの吹き出し口近くは避けてください。電気絶縁が劣化し漏電する危険性があります。 2)本機は平らな所に設置し、フィルム取り出し口側はラミネートされたものが取り出せるスペースをあけてください。 3)本体の上に物を置かないでください。 4)LPP6512の電源は必ずAC100Vから取ってください。LPP1112の電源は必ず単相AC200Vから取ってください。 たこ足配線は絶対にしないでください。 5)閉めきった部屋では、こまめに換気を行ってください。 6)感電防止のため、必ずアースを取り付けてください。アース線を取り付ける時は電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。アース線の取り付けは電気工事店または販売店にご相談ください。 7)延長コードは使用しないでください。
ラミネートフィルム	必ず当社純正フィルム｢CPロール｣をご使用ください｡フィルムの特性が合わないと､巻込むことがあります。
対象物	ラミネートは熱を加えて圧着していきますが、操作の手違いなどで失敗したり、フィルムを巻込んだりすることあります。 次のようなラミネートはお止めください。 1)発火性の物、熱に熔けやすいもの(塩ビ、ポリエチレン等)。 2)たった1枚しかないような大切なもの。 3)フィルムを含めて0.8mm以上の厚さのもの。 4)感熱紙・クレヨンで描いた絵など熱で変色・変質するもの。
機械操作	1)機械本来の使用目的以外には使用しないでください。 2)機械操作中は機械のそばを離れないでください。
保管場所	次のような場所には保管しないでください。 1)極端に湿度が高い、または低い場所。 2)ホコリの多い場所。

目　　次

警告 ・・・

1. 内容物の確認

■ラミネーター本体　1台

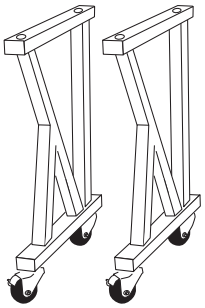


取扱説明書(保証書)
1冊

フィルムセッティングボード
1枚

コマ(3インチ紙管用)
4個

■専用スタンド



側板　2個

マンドレルフック　4個

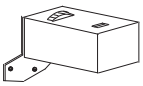
ステー　3本

・六角レンチ(3mm)
・六角レンチ(5mm)
・六角レンチ(6mm)

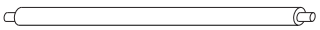
専用スタンド用ネジ
・長い六角穴付ボルト　6本
・短い六角穴付ボルト　8本
・ワッシャ　14個
・スプリングワッシャ　14個

巻取装置用ネジ(LPP1112のみ)
・皿ネジ　6本

■巻取装置(LPP1112のみ)



巻取装置　1台



巻取軸　1本

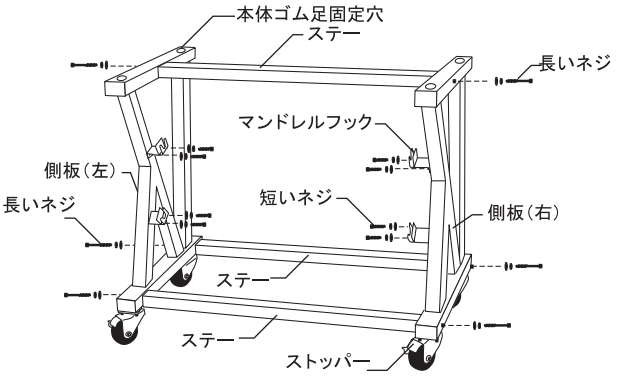
側板　1個

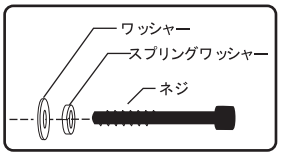
コマ(3インチ紙管用)
2個

取扱説明書(保証書)
1冊

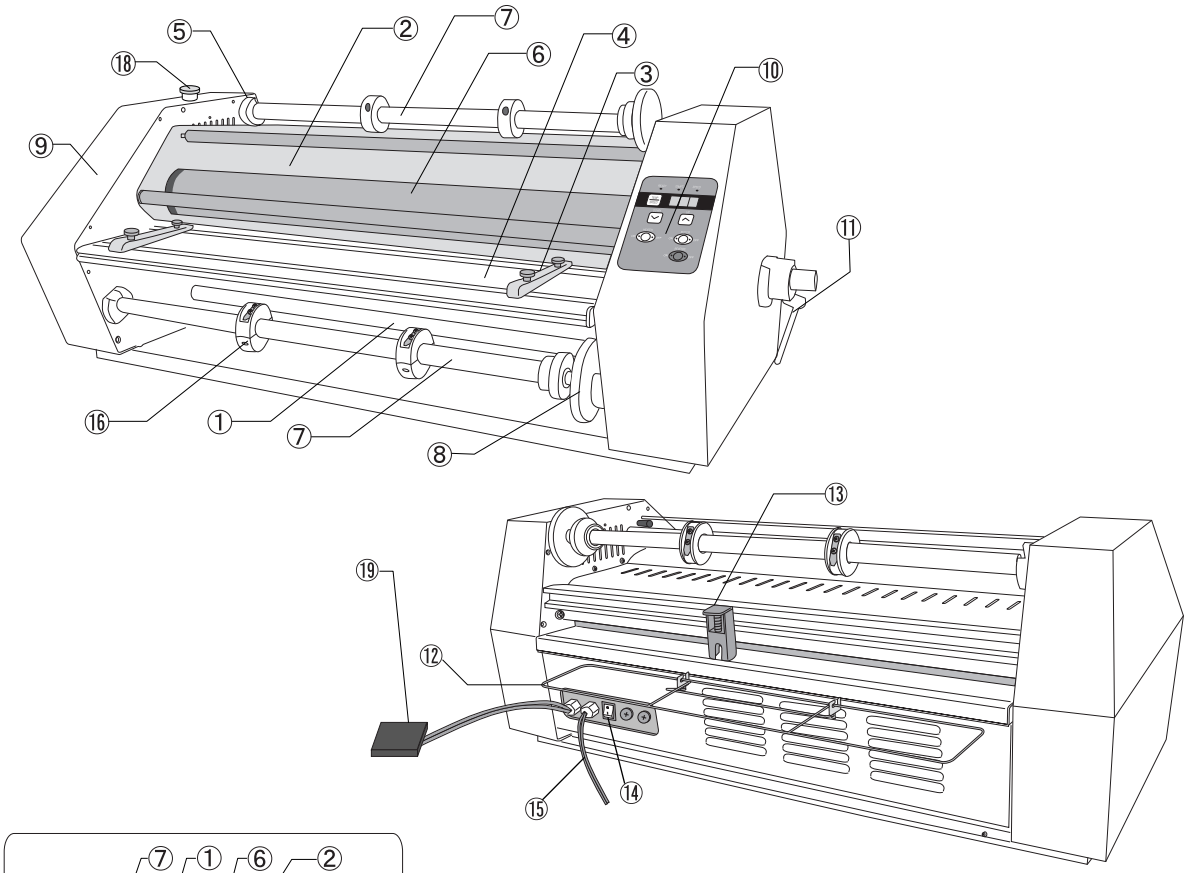
2. 専用スタンドの組み立て

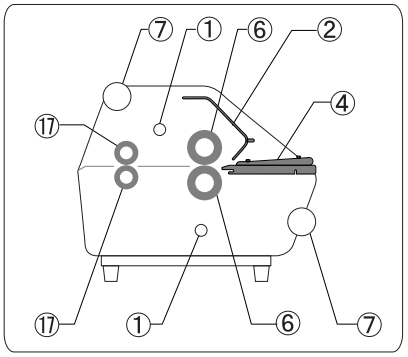
1)側板(左)と側板(右)にステー(３本)をそれぞれ長いネジで取り付けます。
2)マンドレルフック(４個)を短いネジで取り付けます。取り付ける方向はフック側が正面方向になるように取り付けてください。
3)全てのネジが締まっていることを確認して、本体のゴム足をスタンドのゴム足固定穴に入るようにセットします。
　移動する時以外は、キャスターのストッパーをＯＮにしてください。





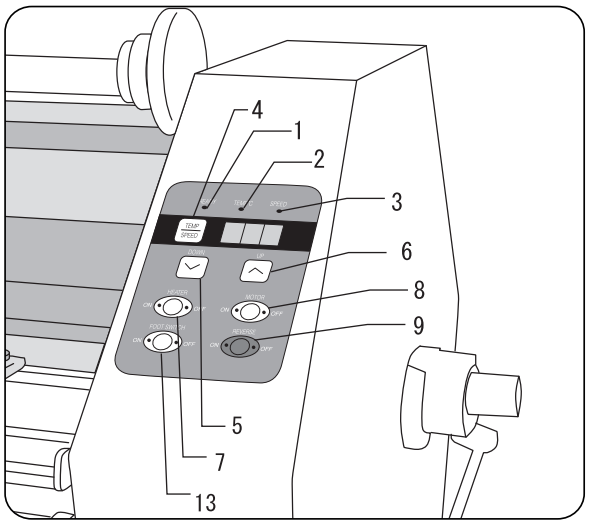
3. 各部の名称

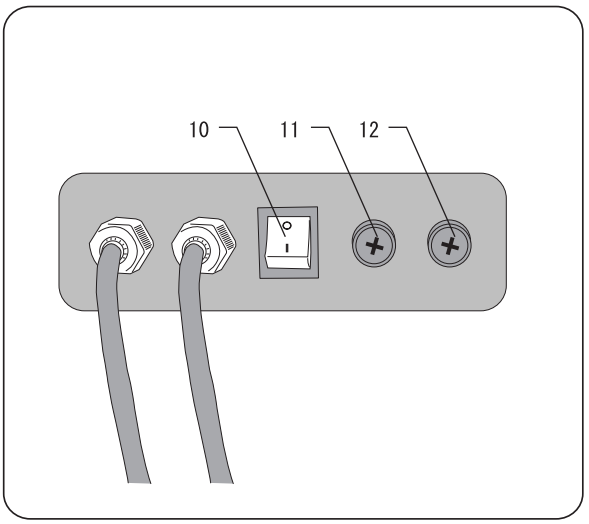




①ガイドロール	⑪ロール操作レバー
②安全カバー	⑫リアトレー
③ペーパーガイド	⑬リアカッター
④前案内板	⑭電源スイッチ
⑤マンドレル受け	⑮電源コード
⑥ヒートロール	⑯コマ(2-1/4インチ紙管用)
⑦マンドレル	⑰プルロール
⑧張力調整ナット	⑱緊急停止ボタン(LPP1112のみ)
⑨ケーシング	⑲フットスイッチ(LPP1112のみ)
⑩操作パネル	

4.各部の機能





1.READYランプ(黄) ヒートロールの表面温度が設定温度に達すると、このランプが点灯します。	8.MOTORボタン このボタンがONの状態の時に、モーターが正回転します。 (ボタンを押す度にON/OFFが切り替わります)
2.TEMP ℃ランプ(黄) このランプが点灯している時は、設定温度の変更が可能です。	9.REVERSEボタン このボタンがONの状態の時に、ゴムロールが逆回転してフィルム及び用紙が手前に排出されます。(逆回転時は最低速度で動作します)
3.SPEEDランプ(黄) このランプが点灯している時は、設定速度の変更が可能です。	10.電源スイッチ このスイッチをONにしますと、操作パネル上のボタン操作が可能となります。
4.TEMP/SPEED切替ボタン このボタンで設定モード(温度・速度)を切り替えます。	11.HETERヒューズ(15A) ヒーターに過電流が流れると、安全のためこのヒューズが溶断します。
5.DOWNボタン このボタンで温度・速度の設定値を減少させます。	12.MOTORヒューズ(1A) モーターに過電流が流れると、安全のためこのヒューズが溶断します。
6.UPボタン このボタンで温度・速度の設定値を増加させます。	13.FOOT SWICHボタン(LPP1112のみ) このボタンをONにしますと、フットスイッチの操作が可能となります。
7.HEATERボタン このボタンがONの状態の時に、ゴムロールが加熱されます。 (ボタンを押す度にON/OFFが切り替わります)	

5. ロールフィルムのセッティング方法

(1) ロールフィルム装填のため、安全カバーと前案内板を本体から外します(図1)。

・安全カバーの外し方は手前側を持ち上げ、更に上に引いて、支持ピンから外します。
・前案内板の外し方は、手前側を持ち上げ、次に手前に引いて、支持ピンから外します。

(2) マンドレルを上下とも本体から取り外します。

(3) マンドレルにはフィルムの紙管サイズに合ったコマを使用してください。また、取り付け位置の調整をしてください。
マンドレルへのコマの固定はツメを同一方向に揃えてください(図2)。

※マンドレルには標準品として2・1/4インチ紙管用コマが取り付けてあります。

注　意

ロールフィルムの最初と最後は、テープで止めてあります。テープを付けたまま機械に通すと、テープがゴムロールに接着してトラブルを起こす原因となります。テープは必ず取り外してください。

(4) ロールフィルムにマンドレルを挿入します。
マンドレルに取り付けられたコマのツメの方向が、ロールフィルムの回転方向と逆向きになるように、マンドレルをロールフィルムに挿入してください(図3)。

(5) ヒートロールにフィルムを持ってきたときにフィルムの樹脂面(ザラザラした面)が外側になるようにマンドレルを本体へセットしてください。

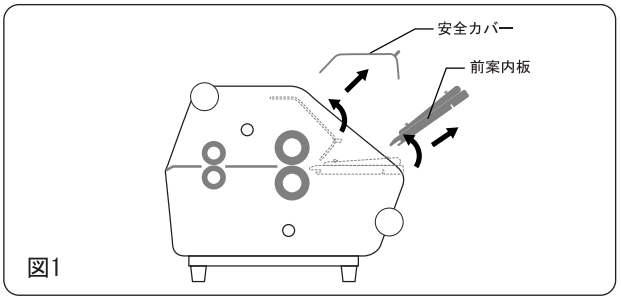


図1

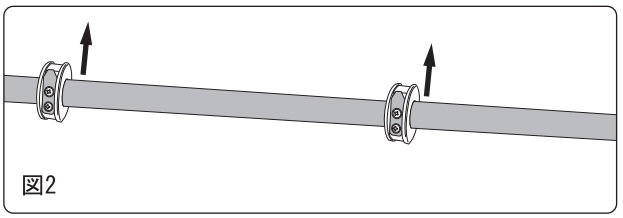


図2

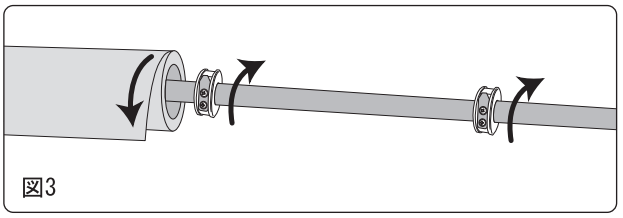


図3

ポイント

ロールフィルムにマンドレルを挿入する際は、マンドレルをツメの向きと逆方向に少し回しながら押し込むと、挿入が円滑に行えます。

6. ウォームアップ

(1) 電源コードをコンセントに接続し、電源スイッチをONにします(ディスプレイにはOFFと表示されます)。

(2) ヒートロールをロール操作レバーで上げ、HEATERボタンをONにします。

(3) ラミネートするラミネートフィルムと用紙に合わせて、温度および速度を設定します(参考加工表をご参照ください)。

(4) ウォームアップ完了のブザーが鳴り、READYランプ(黄)が点灯するとラミネート加工が可能となります。

参考加工表

用紙の厚さ	ラミネートフィルムの厚さ		
	38ミクロン	100ミクロン	150ミクロン
薄手の用紙 80～150μm	110 / 80~120	120 / 80~120	120~130 / 60 , 80
厚手の用紙 160～270μm	110 / 80~120	120 / 80~120	120~130 / 60 , 80

温度(℃)/速度(cm/分)

7. ラミネート加工

注　意

ヒートロールは大変に熱くなっています。
取り扱いには充分ご注意ください。

(1)本体背面のリアトレーを水平にセットしてください(図4)。

(2)リアカッターをレールの左右どちらかの端に移動させてください(図5)。

(3)上側のフィルムをガイドロールに通して、ヒートロールの前に垂らします。

(4)下側のフィルムをガイドロールに通して、上側のフィルムに貼り付けます(図6)。

ポイント

ロールフィルムの両端がきれいに重なるように上下のロールフィルムの位置を合せてから、貼り合せてください。

(5)安全カバーと前案内板を取り付けます(図7)。

(6)フィルムセッティングボードを使ってフィルムと一緒にヒートロール間に押込み、ロール操作レバーでゴムロールを下げます(図8)。
MOTORボタンをONにしてゴムロールを回転させ、フィルムがゴムロールに巻きつかないように注意しながら、ゴムロールの間に通します。

注　意

ヒートロールを出たフィルムは上方にめくれ上がる傾向があります。
MOTORボタンを押して回転を止めた後、めくれ上がったフィルムを手でおさえます。
再びMOTORボタンを押して、ゴムロールを回転させてフィルムをプルロールに送り込みます。
この時、ヒートロールとフィルムは熱くなっています。
また、ゴムロールに指を挟まないように注意してください。

ポイント

MOTORボタン(LPP1112の場合はフットスイッチ)を使用し、ゴムロールを回転させたり止めたりして行なうと簡単にできます。

図4

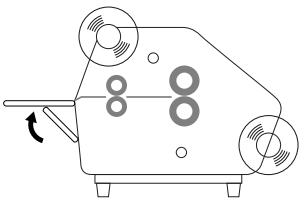


図5

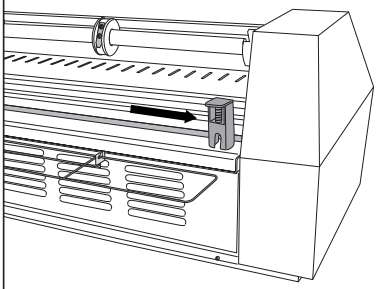
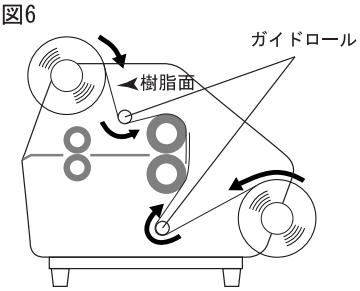
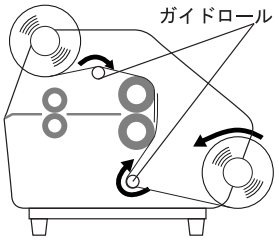


図6



樹脂面外巻フィルムの場合



樹脂面内巻フィルムの場合

図7

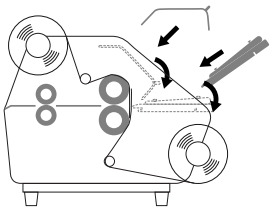
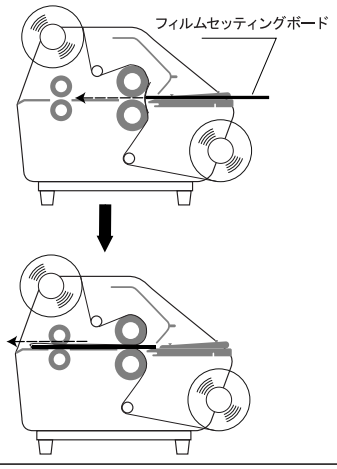


図8



7.ラミネート加工

(7)初めの1mくらいはヒートロール上にシワが出ますが、その後無くなります。
いつまでもシワが消えない場合はマンドレルに付いている張力調整ナットを右回しにして、張力を少し強めにしてください。シワが出なくなりましたら、張力調整ナットは弱め(左回し)にしてください。

(8)ラミネートされたロールフィルムの両端がずれている場合は、両端が重なるようにロールフィルムの位置を調整してください。

注　意　ラミネート加工を行う時は、必ず安全カバーと前案内板を取り付けてください。

ポイント　きれいにラミネートするためには…

a)類似紙質の用紙を使用して「試しラミ」を行って、温度と速度の条件をつかんでから本番に入ることをお勧めします。
b)加工中用紙を上から手で押えて、中央から両端へしっかりと張りながらラミネートするときれいに仕上ります。
c)ラミネート仕上りが白く曇った時は熱不足です。温度を少し上げるか速度を少し下げてください。
d)ラミネート加工後のフィルムが反り上がる時は、マンドレルの張力調整ナットを回してください。
フィルムが上方向に反る場合は上側の張力調整ナット、フィルムが下方向に反る場合は下側の張力調整ナットを少し弱め(左回し)にしてください。

(9)ラミネートする用紙の先端が安全カバー(ヒートロール)と平行になるように前案内板の上に平らに広げて、機械に挿入してください。
ラミネートする用紙は機械に対して垂直方向に挿入されますので、用紙の先端を平行にして機械に挿入しないと、ラミネートする用紙の後半がフィルムからはみ出してしまいます。

ポイント
機械に対して用紙を垂直に挿入するために、前案内板の上のペーパーガイドをワークの幅に合わせて使用して下さい。

(10)ラミネートされたフィルムは、プルロールのところから出てきます。
この時、加工物はある程度高温(30～40℃)になっています。

注　意
a)リバース(REVERSE)ボタンをONにするとゴムロールは逆転しますが、緊急時以外は使用しないでください。
b)作業中に一時機械を停止したい時は、必ずMOTORボタンをOFFにして、ゴムロールの回転を止めてから、ゴムロールを上げてください。
高温のゴムロールが加圧状態(下がった状態)のままになっていると、ラミネートフィルムが溶けたり、ゴムが変形する可能性があります。

スタンバイモード

加工を中止した状態(HEATER：ON、MOTOR：OFF)が約30分間続くと、自動的にスタンバイモードに切り替わり、
温度は50℃に設定されます。
加工を再開する場合は温度設定を行ってください。

フットスイッチ(LPP1112のみ)

(1)操作パネル上のMOTORボタンとREVERSEボタンをOFFにする。
(2)操作パネル上のFOOT SWICHボタンをONにする。
(3)フットスイッチ本体を踏み込んでいる間、ゴムロールが正転します。

注　意
MOTORボタンやREVERSEボタンがONの状態の時に、FOOT SWICHボタンをONの状態にしても、フットスイッチは作動しません。

緊急停止ボタン(LPP1112のみ)

緊急停止ボタンを押すと、本体の電源がOFFされます。
再度電源を入れる場合は、緊急停止ボタンを右回しに回転させてください。

8. リアカッターの使い方

リアカッターの操作はゴムロールを停止した状態で行います。
ラミネートしたフィルムを切断したい時に下記の手順で行います。

(1)カッター上部を押すと刃先が出ます。
この状態のまま横方向に移動し、フィルムを切断します(切断は左右どちらの方向からでも出来ます)。

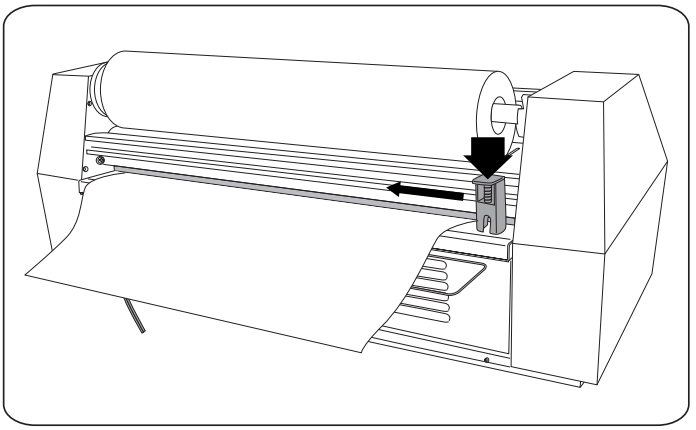
ポイント

フィルムをピンと張った状態で切断してください。

(2)手を離すと刃先はカッター本体内に収納されます。

注　意

ラミネート加工中、必ずカッターはレールの左右どちらかの端に移動させてください。
ラミネートフィルムがカッター本体に接触して巻込んだり、カッターが破損する恐れがあります。

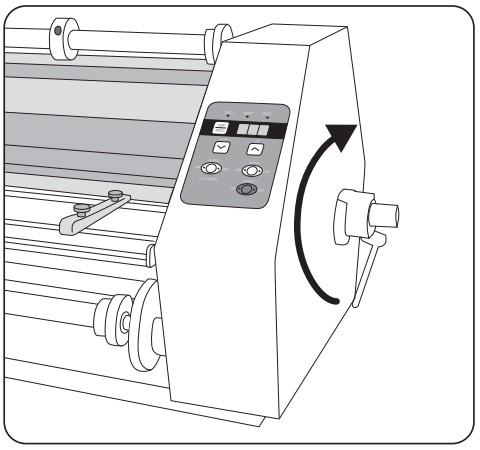


9. 作業の終了

(1)作業が終了した場合、HEATERボタン・MOTORボタンをOFFにし、ロール操作レバーでゴムロールを上げます。
(2)安全カバーと前案内板を取り外します。
(3)フィルムをヒートロールの手前で上下とも切り、フィルムの残片を手で手前に排出してください。
(4)電源スイッチをOFFにしてから電源コードをコンセントから外し、安全カバーと前案内板を取り付けて終了します。

注　意

フィルムをセットしたまま機械を冷却すると、
フィルムがヒートロールに接着して、再起動の際にゴムロールのゴムを傷めることがあります。



10. ゴムロールの清掃

定期的にゴムロール(ヒートロール/プルロール)の簡単な清掃を行なって下さい。
フィルムを外した状態で厚口の用紙(カレンダー、カタログ等)を二つ折りにして、糊が付着している箇所に折り目の方から機械に挿入します。これを数回繰り返して下さい。
ゴムロールに糊が多く付着するとフィルムを巻込むことがあります。また、古くなった糊は非常に取りにくくなりますので、こまめに清掃をして下さい。

注　意

ローラー清掃の際にコピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻込む恐れがありますので充分注意してください。

11. ラミネートフィルム

フィルムの特性が合わないとラミネート仕上がり不良や巻き込み等の故障の原因となりますので当社純正ロールフィルム「CPロール」をご使用下さい。詳細に関しては販売店または当社にお問い合わせ下さい。

12. 自己診断機能

電気系統にトラブルが発生した場合は、ディスプレイにエラーコードを表示します。
同時にモーター、ヒーターはOFFとなります。

エラーコード	異常内容
E01	温度センサー断線
E02	温度センサーショート

エラーコードが表示された時は動作不能となりますので、販売店または当社にご連絡ください。

13. 機械仕様

商品名	LPP6512
最大ラミネート幅	650mm
最大ラミネート厚	0.8mm
ラミネート速度	60～180 cm / 分
温度調節範囲	常温,50～130℃
ウォームアップ時間	約8～30分
電源電圧	AC 100 V (50/60 Hz)
消費電力	1300W
本体サイズ	1004(W)×488(D)×412(H)mm :本体 1004(W)×615(D)×1108(H)mm :リアトレー・専用スタンド組立時
本体重量	74.4kg(94.4kg :専用スタンドを含む)
使用環境 温度 / 高度	0～40℃(推奨環境20℃±5℃) / 海抜2000m

※ウォームアップ時間は、使用環境温度などによって差が生じる場合があります。

商品名	LPP1112
最大ラミネート幅	1120mm
最大ラミネート厚	0.8mm
ラミネート速度	60～180 cm / 分
温度調節範囲	常温,50～130℃
ウォームアップ時間	約8～30分
電源電圧	単相 AC 200 V (50/60 Hz)
消費電力	2200W
本体サイズ	1480(W)×488(D)×412(H)mm :本体 1480(W)×615(D)×1108(H)mm :リアトレー・専用スタンド組立時
本体重量	88.7kg(108.7kg : 専用スタンドを含む)
使用環境 温度 / 高度	0～40℃(推奨環境20℃±5℃) / 海抜2000m

※ウォームアップ時間は、使用環境温度などによって差が生じる場合があります。

保証規定

この製品は、厳密な品質管理のもとに生産され、検査に合格し出荷された製品です。
しかし、通常のご使用において万一故障や調整の必要が生じた場合は保証規定に従い保証いたします。

1. 保証期間中に取扱説明書記載通りの正常な使用状態において、万一故障が発生した場合、保証書を添えて当社または販売店へご持参下さい。無償で修理を致します。
2. 次の場合は保証期間中でも有償修理となります。
   a) 取扱説明書記載通りの取扱ではない、使用上の誤りまたは改造や不当な修理による故障および損壊。
   b) 火災・地震・水害・落雷などの天変地変や公害や異常電圧などの外部要因による故障および損傷。
   c) ご使用中に生じた傷等の外観上の変化。
   d) 当社純正ラミネートフィルム以外のフィルム使用が原因であると判断される故障および損壊。
   e) 保証書の提示がない場合、保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入および捺印がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. ラミネート加工に失敗した場合やラミネートした写真等の表面に気泡が発生した場合などいかなる場合においても内容物（印刷物や写真など）の保証は致しかねます。
4. 修理依頼品および保守部品用部品の持参・待ち帰りの交通費などの費用や、発送および返送する場合の送料および諸費用はお客様負担となります。
5. 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造中止後5年間です。
6. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
7. この保証書に従わなかった場合、機械の安全性能が損なわれる事があります。

☆本規定は上記条件において無償修理をお約束するもので、御客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等は販売店または当社にお問い合わせ下さい。

ラミパッカー保証書

本書は保証期間内に正常なご使用で生じた故障について、取扱説明書に記載の保証規定に従い無償での修理を保証いたします。
故障した機械に本保証書を添えてお申し出下さい。

商品名	ラミパッカー　□LPP6512　□LPP1112
M/C No.	
保証期間	ご購入日より1年間 ご購入日　　年　　月　　日

お客様名	
ご住所	
電　話	（　　）

販売店名・住所

印

FUJiPLA フジプラ株式会社
〒104-0041 東京都中央区新富1丁目18番8号 RBM築地スクエア

FUJIPLA